

プレスリリース

2019年10月8日

*日本語プレスリリースはご参考用の仮訳です。英語版が正式なプレスリリースです。

インディアナポリス動物園 (USA)

お問い合わせ (英語) Melanie Laurendine

+1-317-630-3265

mlaurendine@indyzoo.com

インディアナポリス動物園と国際自然保護連合 (IUCN) 種の保存委員会が、初の世界的な種の保存機関 (GCSS) を設立。 リリー財団が、設立資金400万ドルを支援 世界から9人の専門家を募集

【アブダビ発】米国インディアナポリス動物園と国際自然保護連合 (IUCN) 種の保存委員会 (SSC) は、世界初となる「種の保存グローバル・センター (GCSS)」を、アメリカ合衆国インディアナポリス州のインディアナポリス動物園に設立するパートナーシップに合意しました。この GCSS 設立の合意文書は、10月7日にアラブ首長国連邦アブダビで開催された IUCN-SSC の代表者会合において、インディアナポリス動物園協会の会長、ロブ・シューマッハー博士と、IUCN-SSC の代表者たちにより署名されました。

GCSS は、リリー財団 (グローバル製薬企業イーライリリーにより設立された基金) からの400万ドル (約4億3500万円) の初動寄贈を受けて、2020年に開設され、インディアナポリス動物園の種の保全の取り組みの重要な拠点としての国際的な役割を強化します。世界最大で最も重要な環境保全組織である IUCN の設立からの70年の歴史の中で、このパートナーシップは前例のないものです。これにより、SSC は生物多様性の喪失、気候変動、違法野生生物取引をはじめとする地球が直面している深刻な課題に立ち向かう世界一線のコンサベーションニストたちを支えるキャパシティを拡張します。

「GCSS は世界のすべての重要な保全プロジェクトに関わっていくと言っても過言で

はありません」とシューマッハー博士は言います。「このパートナーシップは動物保全を進めることへの我が園の貢献の次の重要な一歩であり、自然の世界を守る正真正銘の成果を作り出せるよう我々の力を根本的に変えていくものです。」

IUCN-SSC は、世界のほとんどの国にメンバーを持つ、科学に基づいたネットワークで、生物種を守るための行動計画を策定し、生物多様性保全、生物種が備え持つ価値、エコシステムの健全性や機能における生物の役割、エコシステムサービスの供給と人間の暮らしへの支えなどの情報を IUCN に提供しています。この情報は、絶滅の危機にある種を確定して評価するレッド・リストの策定に用いられます。また、IUCN は、国際連合(UN)の各機関に世界的な種の保全課題について伝える役割があります。

インディアナポリス動物園の CEO マイケル・クローサー氏（2019 年末に退任予定）では、2017 年に SSC の代表者たちと協働し、保全に必要なアセスメントと計画策定の進歩を加速させ、本当に生き物たちを守っていく行動プログラムを具体化する方法としてこのコンセプトを作りました。インディアナポリス動物園は、これまで何十年にもわたる世界的に知られた展示とプログラム、さらに動物保護における世界で最も大きな賞であるインディアナポリス賞を通じて、サイエンス及びサイエンティストを一般の人々につないできましたが、今回のパートナーシップを通じて、さらにその可能性を発展させます。

「インディアナポリス賞は、単に尽力しただけでなく、実際に成功をもたらしているコンサベーションのチャンピオンを選ぶものです」とクローサーは言います。「そして、GCSS は、世界中の実績ベースの事業計画モデルを使い、市民や政治家に成功への示された道があることを明白に示します。自然の世界は困難に直面していますが、我々には、科学と取り組む人々がいます。」

GCSS は、インディアナポリス動物園に事務所を備え、そこで勤務する 9 人の専門家を雇用する予定です。彼らは、絶滅の危機に瀕した生き物を救うために働く 9000 人を超える SSC の世界中の自然の専門家の努力を支えます。インディアナポリス動物園と SSC は、この新しいチームのメンバーを募集しており、動物園内に新たな事業スペースを建設中です。GCSS は、このチームの本拠地となるとともに、国際会議やミーティングの会議場ともなり、経済的な恩恵を地元のコミュニティにもたらし、動物園の取り組みでインディアナポリスを世界的な自然保全理解の街にします。

リリー財団のコミュニティ支援部長のロニー・クロス氏は、「インディアナポリス動物園は、来園者が動物と触れ合う経験を世界中の動物を守る保全活動につなげることを助ける保全サイエンス学習を育んでいます。GCSS はこれらの活動をさらに強化し、インディアナ動物園の国内及び国外における評価を高めるはずです。」

「GCSS は、世界の生物保全におけるターニング・ポイントです」と、IUCN-SSC 議長のジャン・ポール・ロドリゲス博士は言います。「IUCN-SSC は、このパートナーシップが、重要なコンサベーションリストの国際ネットワークが生き物を守るためにともに取り組む方法を変えていくと確信します。インディアナポリスは、動物園の専門家、フィールドでの実践者、学術研究者、政府関係者という保全の各分野における専門家たちの架け橋となり、世界最先端の専門性とキャパシティビルディングの中核となるでしょう。」

2018 年のインディアナポリス賞を受賞した著名なコンサベーションリストで IUCN-SSC 霊長類専門家グループ議長のラッセル・ミッターマイヤー博士は、インディアナポリス動物園が野生生物に実際の変化に良い効果をもたらしてきたことを直に目にしてきました。「インディアナポリス賞は、複雑で難解になりがちな保全のコンセプトを多くの市民が理解することを助けてきました。伝わりやすい方法で表されることで、魅力的になり楽しめると思います」とミッターマイヤー博士は述べました。

◇メディア素材へのリンク（英語版リリースよりリンクをご利用ください）

◇インディアナポリス動物園について（英語版リリースをご参照ください）

◇IUCN-SSC について

国際自然保護連合（IUCN）種の保存委員会（SSC）。IUCN の6つの専門委員会の中で、9000人以上のメンバーを持つ最大の委員会。

◇ リリー財団

グローバル製薬会社イーライリリーによる資金を元に、J.K.Lilly 氏と二人の息子により 1937年に設立された慈善団体。イーライリリーからは独立している。本部はインディアナポリス。